

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道56号 <small>おおがたかいりょう</small> 大方改良	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 四国地方整備局															
起終点 自：高知県幡多郡黒潮町入野立石 至：高知県幡多郡黒潮町入野神ノ前		延長 2.6km															
事業概要 一般国道56号は、高知市を起点に四万十市、宿毛市、宇和島市、大洲市を經由して松山市に至る延長約320kmの主要幹線道路であり、高知県、愛媛県の産業経済活動を支える大動脈であるとともに、県民の生活基盤として重要な役割を果たしている。 しかしながら、黒潮町内を走る国道は幅員が狭く、歩道も整備されていないため、多くの児童や高齢者をはじめとする歩行者等の安全が確保されていないうえ、路上駐車等による救急活動の妨げも懸念されるなど、多くの課題を残している。 大方改良は、幹線道路である一般国道56号の走行性や安全性の向上及びアクセス機能の向上と黒潮町内の生活安全性の確保を目的とした延長2.6kmの道路事業である。																	
H11年度事業化	H21年度用地買収着手	H23年度工事着手															
全体事業費	約56億円	事業進捗率 約19%															
計画交通量	7,000～12,200 台/日 [現況+事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの]																
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 38/55億円</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体) 58/58億円</td> <td style="text-align: center;">平成23年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">(事業費) : 32 / 50億円 (維持管理費) : 5.5 / 5.5億円</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益) : 57 / 57億円 (走行経費減少便益) : 1.2 / 1.2億円 (交通事故減少便益) : 0.16 / 0.16億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C		総費用	総便益	基準年	(事業全体)	1.1	(残事業)/(事業全体) 38/55億円	(残事業)/(事業全体) 58/58億円	平成23年	(残事業)	1.5	(事業費) : 32 / 50億円 (維持管理費) : 5.5 / 5.5億円	(走行時間短縮便益) : 57 / 57億円 (走行経費減少便益) : 1.2 / 1.2億円 (交通事故減少便益) : 0.16 / 0.16億円		
B/C		総費用	総便益	基準年													
(事業全体)	1.1	(残事業)/(事業全体) 38/55億円	(残事業)/(事業全体) 58/58億円	平成23年													
(残事業)	1.5	(事業費) : 32 / 50億円 (維持管理費) : 5.5 / 5.5億円	(走行時間短縮便益) : 57 / 57億円 (走行経費減少便益) : 1.2 / 1.2億円 (交通事故減少便益) : 0.16 / 0.16億円														
感度分析の結果 (事業全体)交通量 : B/C=0.9~1.2 (交通量 ±10%) (残事業)交通量 : B/C=1.3~1.8 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.0~1.1 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=1.4~1.7 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.0~1.1 (事業期間±10%) 事業期間 : B/C=1.5~1.6 (事業期間±10%)																	
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる。 ・現道等の旅行速度が改善される。 ・下田の口地区から土佐入野駅（特急停車駅）までの所要時間の短縮が見込まれる。 ・四万十市から高知龍馬空港（第二種空港）までの所要時間短縮が見込まれる。 ②物流効率化の支援 ・農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。 ④個性ある地域の形成 ・頑張る地方応援プログラム（黒潮町）の展開を支援する。 ・主要な観光地へのアクセス向上が期待される。 ・新規整備の公共公益施設へ直結する道路である。 ⑤安全な生活環境の確保 ・バイパスへの交通転換により現道の交通安全性が向上する。【現道：自動車11,025台/12h，スーパー前交差点における交通量：歩行者等217人/12h】 ⑥災害への備え ・第一次緊急輸送道路として信頼性が高い道路ネットワークを形成する。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑧生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 ・環境基準値を上回る騒音の解消が期待される。																	

⑨その他

- ・黒潮町のまちづくりと一体的に整備する必要あり。
- ・渋滞や駐車・停車車両の影響を受けない広幅員の道路構造となることで二次医療施設（幡多けんみん病院）へのアクセス性の向上が期待される。

関係する地方公共団体等の意見

- ・平成20年度に一般国道56号バイパス建設促進期成同盟会等、平成21年度、平成22年度に高知県黒潮町、平成23年度に黒潮町道路建設促進期成同盟会等より積極的な整備促進要望を受けている。

高知県知事の意見：

- ・事業継続に異議ありません。一般国道56号大方改良は、市街地の交通混雑を解消し、交通安全の確保や都市間のアクセス性の向上につながる、住民の日常生活に直結する重要な改築事業であることから、早期の供用を目指し、より一層の事業推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成21年3月 須崎道路 L=4.6km 2車線供用、中村宿毛道路（四万+IC～間IC）L=6.1km 2車線供用
- ・平成21年11月 中村宿毛道路（下田交差点～右山交差点）L=0.85km 4車化供用
- ・平成22年3月 宇和島道路（津島高田IC～宇和島南IC）L=7.8km 2車線供用、中村宿毛道路（古津賀地区）L=0.4km 4車化供用
- ・平成23年3月 四国横断自動車道（須崎西IC～中土佐IC）L=7.0km 2車線供用

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・用地進捗率 1工区は約55%、全体事業進捗率約19%となっている。（H22年度末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・1工区では用地取得率が約55%であり、また、改良工事に着手し、早期供用に向け事業を推進。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の事業効果の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。